

JL Advisers Limited 興惠顧問有限公司

是一家向國際性投資者提供服務的諮詢公司

Is a global investor based investment advisory company provides professional financial services

JLアドバイザーはグローバル投資家へのプロの金融サービスを行う投資コンサルタント

客人來自機構投資者、企業和個人

Our clients include institutions, corporations and individuals

弊社顧客は機関投資家、企業や個人投資家等

提供不同的專業服務與商品

We provide different kinds of professional services and products

あらゆる角度からの専門的なサービスと商品を提供

服務包括：金融投資保險諮詢、分析市場，幫助客人爭取最大投資回報

Services include Financial Investment & Insurance Advisory. We share you our market insight and analysis for better investment performance

金融投資保險アドバイス、マーケット分析及び

お客様への最大限投資リターン獲得へのサポート等

財富管理服務平台 — 我們專業團隊助您作出最佳理財決定

Wealth Management service platform - our professional team assists you for the best Financial Planning

ウェルスマネジメントサービスプラットフォーム：プロチームが貴方の為に

最高の金融プランをテラーメイド

協助辦理申請香港移民，為客人提供當地生活諮詢、投資產品介紹和跟進

Provides advisory and application services on Hong Kong Immigration

Assists your investment product selection with follow up services

香港への移民申請手続き、顧客への現地での生活アドバイス、

投資商品紹介、フォローアップサービス提供

公司成立、會計與稅務審計顧問服務

Incorporation in HK and the mainland, and offshore company setup with accounting tax and auditing services

會計及び稅務審查顧問サービスも合わせて提供

t (852) 2108 4826

m (852) 5439 6541

(86) 1471 5028 701

w www.JLadvisers.com

e info@JLadvisers.com

n newsblog: <http://blog.jladvisers.com>

a Unit 4, 6/F., Chevalier Commercial Centre,
8 Wang Hoi Road, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong



Corporate Video



Corporate Video
PRC version

投資有道 Review and Outlook 2016



JL Advisers Limited
興惠顧問有限公司

Preface

Financial markets in 2015 was a lackluster year. US S&P ended the year down slightly. China and HK outperformed the others in the globe in the beginning but fell sharply afterward due to the PRC government's excessive market interference (or "Violent Market Intervention") and the RMB devaluation in Summer. European market was not that bad, Japanese market was one of the outperformers in 2015. Crude oil tumbled as a continuation of the slide since 2014, the dollar rose, US treasury yield rates started shooting higher. Strong fund redemptions from the equity space were seen running out of China & HK, moving from RMB to HKD then USD. Some were parking into the safe currency zone like Japanese yen.

For the outlook in 2016, it is going to be a difficult environment from a global perspective. US FED's rate hike expectation and its economy will be facing some challenges. Chinese economy will struggle to regain momentum, RMB needs to gain back confidence from the investors. The environment remains difficult for the investors to assess like the China slowdown, FED tightening cycles, further fiscal policy in the Eurozone. Euro's negative interest rates, possible QE increase in Euro and Japan, further oil and commodity prices drop, refugee crisis in Europe, ISIS and the terrorist activities.

Equities will be losing ground. We see many more investors are seeking high or stable yielded products. Hong Kong stocks at its low single digit price earning ratio look attractive to accumulate.

Japan's Abenomics is loosing strength hardly to achieve its inflation goal. Another QE increase is expected this year further stimulating the property investment in the country and overseas. The Japan property investment boom may sustain for some more time.

Jan 2016



Joe Law
Managing Director

2015年的金融市場的確是沒有氣色的一年。美國股市年末收盤稍微下調一點，中國和香港直至年中跑贏了大市，但後來因為去年夏天中國政府的過份市場干預(又稱“暴力救市”)而且人民幣貶值，引致市場暴跌。歐洲市場去年不過不失，日本卻是2015年最佳表現的市場之一。去年原油價格繼續下滑延續2014年的趨勢，美元升值，國庫券孳息率開始上升，股票基金贖回強勁不少資金離開中國香港從人民幣走到港元然後美元區。一些資金更逃往外匯市場避險區域如日圓。

2016年的展望，從國際角度來看，將會是一個困難的大環境。美國聯儲局的加息及其經濟將面臨考驗。中國的經濟也必須爭回其動力，人民幣需要挽回投資者的信心。投資環境仍然嚴峻，投資者要繼續跟進的事情很多，譬如中國市場下滑、聯儲局的緊縮政策、歐元區繼續的財政緊縮、歐元的負利率、歐洲和日本QE加碼的可能性、原油和商品價格的繼續調整、歐洲難民危機、伊斯蘭國及恐怖活動等。

我們預測部份資金將流出股票市場，投資者會尋找較高回報而且安全的產品投資。香港股票不少單位數字市盈率的越見吸引，不妨考慮慢慢增持。

日本方面，安倍經濟學漸漸失去動力，越來越難達到原先的通貨膨脹等目標。預計進一步的貨幣寬鬆年內可能出台。這會加大對日本國內以及海外房地產投資的刺刺激，而日本的房地產投資熱潮估計會繼續維持一段較長的時間。

2016年1月

2016 New Year Greetings

新年明けましておめでとうございます。皆様にとってこの2016年が祝福された素晴らしい年となりますようにお祈り致します！

2015年はあっという間に過ぎてしまいました。新しい年が始まった今日、これからの365日をいかに楽しくそして有意義に歩んでいけるかを考えてみました。

今年の大晦日は家族と香港でいつもの通り食事をしながら紅白歌合戦を鑑賞しましたが毎年「紅白」から日本の今を感じ、新しい年の行く末にもなんとなくヒントをもらえるような気がします。

今回の「紅白」で一番印象に残ったのは、「時代交代」です。演歌、特にゴールデン演歌歌手はいつまで受け続けられるのかは疑問です。森進一さんの紅白ラストステージは悲しく、又逆に白組の若くて青々しい演歌歌手の紅白デビューなどが世帯交代の印のように映りました。演歌愛好者の私は北島三郎さんの紅白引退から今回の森進一さんのさよなら紅白を拝見し、もう世の中のトレンドが変わってしまうであろうと思い、寂しくなりました。その代わりに今年の紅白には沢山の若者向け要素が新たに組み入れられていました。ディズニーキャラクターが出場し踊り歌うステージは楽しく、今話題のスターウォーズの登場も映画放映に合わせて会場を盛り上げましたね。しかし、なんと言っても可愛い少女達グループ「X48」「X46」が多くステージで踊って歌ったりしていたことは印象深かったです。初出場である「46」組やミュージックから動画と共に演出したのもニューアイデアですね。それらは中年である筆者以上のシニアには刺激であり、驚きでもありました。もちろん、昔から見慣れ親しんでいる、懐かしい小林幸子さん、マッチ、松田聖子さん達の出演は自分の少年時代からの思い出を思い起こさせ良かったです。「時の流れ」をやはりすごく感じさせられましたね。これからの30年に私を含む多くの「昔の紅白」ファンは消えてしまうのであろうと、そうになったらその後日本はどのように大晦日を過ごすだろうと複雑な心境にもなりました。

震災後の「前向き」、「花は咲く」というポジティブなムードでより早い楽しいリズムで演出してくれたスクリーンは素晴らしいと思いました。忘れてはならないこと、まだまだ復興は終わっていないことをおそく皆そう考えています。いつも悲しんでも良くはならない、もっと前向きにするのだという強いメッセージを受けました。

この「紅白」から考える2016年(2015年のフォロースルー)は？日本では昔から言い続けられてきた「チェンジ」は多少しておりますが、まだまだ足りないような気がします。

安倍政権は2015年の出来事は日本国民そして国際政府に受けられたかは大きな疑問です。アベノミクスがローンチされて3年経ちました。インフレ率2%、賃金上昇、GDP押し上げなどへの目標達成にまだ遠い、代わりに憲法9条を無視するまで集団的自衛権行使したことに大衆批判な声を高めています。もちろん様々な背景はあるのですが、2015年から引きずった不安材料が2016年を迎えたことを見逃してはならないだろう。イスラム過激組織ISの世界へ向けるテロ事件、日米日ア間の利害関係、中韓への対立、アジア戦略の進展はいかにしていくかは引き続き今年の話題でしょう。

また、「爆買い」である流行語はいつまで続くでしょうか。中国の「量的な巨大さ」は20年あまり前に予想していましたが、正しく我々がいる金融業界でよく言う「フロー」のことです。株の世界でいうと、80年代～90年代前半のジャパンマネーがリード、90年代半ばから欧米資金から市場への左右、2002年中国WTO加盟後の赤く染められたフローが世界に影響を与えています。このようなフローは流れるもので、停留しているものではありません。円が高くなれば、そして日本製炊飯器や便座が中国本土に合わない中国人消費者が感じれば「元」は違うマーケットへ行ってしまう。中国の経済もいつも元気とも言えません。去年中国政府の「暴力的マーケット救済」が実行されてから、ファンダメンタル経済低下にさらなる「中国信用度急低下」による本土経済が悪化しています。マーケットは2015年末中国経済回復を強気に見ていたのですが、今年も「冴えない」「話題性の欠けている」マーケットとなりましょう。

中国からの「爆買い」は日本で起きているだけではないのです。ヨーロッパ、オーストラリアなどの国にも発生しています。この18年香港にずっと住んでいる私にはよくわかります。その凄さを経験し始めているのはここ香港です。彼らの「爆買い」で香港不動産(経済)バブルは大いに膨らみ

Outlook on Hang Seng Index 2016

ましたが、そのような巨大なフローに完全に依頼してはならない、資金が撤退した時の準備をしないと火傷してしまいます。香港はその良い例です。

もう一つ、中国本土からの「爆買い」に民族的な声が潜んでいます。それらの消費者は「俺がお前のところの経済を支えているから」という民族精神で消費していることにより、無理なサービス・弁償・対応が要求されるのは「爆買い」の副産物です。もちろん、爆買いの恩恵を受けるお店や小売産業は嬉しく頂戴すると精一杯「爆売り」しようとはしますが、最近では彼らの態度やマナーに悪印象を受けた世界各国の人々が彼らを排除するような動きをとりつつあります。

また、2016年の世界市場トレンドははっきりしたシグナルが見えません。ユーロ債務危機はこの2年消えたように見えますが、根本的な問題はまだ解決していませんし、難民問題などは欧州に負担を増している。アメリカ経済は徐々に回復しているものの、期待されたベター・オフ・マクロ・データが見られません。これから利上げモードに入ったアメリカがいかにか乗り越えられるかは今年のテーマになるでしょう。ドル高、円安モードはもう転換期になると見られます。石油及び商品価格低下によるダメージはいつまで続くか、サウジの戦略や先進大国の外交そして政治ゲーム次第です。中国の経済は伸びてきているが、世界におけるディマンドの縮小、大国の政治&軍事バランスのやり直しによる中国除外説には不利になるでしょう。幸い中国の株式価格はまだ高くなく、内需への依存度は依然大きく、お金のリザーブも厚いため、話題を作り上げる能力はあります。日本は3年前ほどアベノミクスに興奮していません。消費税の引上げ、さらなる金融緩和からどのようにマーケットに影響を与えるかは見逃せないところ。プラスマイナス材料も出てきそうですので日本はまだグローバル市場から期待されていますが、50・50でしょうね。大きなチェンジが安倍政権に期待されているゆえに、失敗したら、日本市場もアウト。

じゃ〜どこがいいの?! 去年半ばから活気を感じたのはアセアンです。アメリカ、オセアニア、日本など連結されているTPP加盟国、アメリカのアジア戦略復帰、日本政府よりアセアン市場への支援、日系民間企業のさらなるアセアン進出、中国政府の「一帯一路」政策、中国主導AIIBからのファンディング、中国製造業の生産及び市場開拓でアセアン行き等により、エマジングであるアセアン市場への資金投入が増えていることをよく耳にします。が、マーケットが小さいのです。巨大エマジング市場である中国の過去20年間の動きとは比較できないのかもしれない。

92年から中国ビジネス(キャピタル・マーケット)を経験して来て思う事は今のアセアン市場は昔の中国と似ているような感じします。去年始めから、あるご縁で、アセアンにあるプロジェクトのサポート業務をさせていただいておりますが少なからず「いい加減さ」「政府の対応」「グレイ・マネー」「ルールなし」「投資家からの過剰な期待」「交渉のできないサプライズ」を繰り返しています。特に、日本人投資家から相手国(市場)への「甘い」「緩い」「硬い」対応は歴史を重複しているような感じを受けます。

弊社の2016年の方向としてタッチしているマーケットは今までと同様、日本、中国、アジアですが、ウェイトは変えます。中国を少しダウンウェイトしてアジアの方へシフト、バランスよく事業を進めていけたらと考えます。去年は多くのミドルオフィスの受身型業務に時間を取られていましたが、今年はアセットアロケーションへのサービスをより前に出せていけたらと思います。ご期待ください!

教育、セミナー関係では、去年HSBC中国本部の要請にてミドルマネジメントへのトレーニングセミナーを継続しました。グローバルマクロ市場状況を皆さんにシェアすることができたこと、感謝です。日本でも住宅新聞社からインバイトされ、香港不動産市場事情を日本の不動産アドバイザーの皆さんにお話をさせていただきました。香港の大学生ユニオンの皆さんからもマントシップへ参加するように要請されましたが、出張多く、なかなか時間を取ることができなかったことは残念でした。今年は若者や学生に時間を割けるように努力致します。

本年も引き続きご鞭撻ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

Joe
2016年元旦

2015 was an exciting year for all traders, yet it could be a nightmare to most individual investors in HK market. A very strong breakout to the upside through the 5 years high since 2010 (25000) occurred in April and climbed up to as high as 28500 but it remained above 25000 high only for less than 2 months. It was followed by a drastic drop down to around 20300 in less than 3 months, with a magnitude of some 8000 points down to 20300. The range of movement also broke the high of recent 5 years since 2010.



Chart 1 - Support trend line analysis with HSI monthly chart.

From the monthly chart of HSI since 1999 above, we could notice that the two long term support trend lines (S1 - support trend line in blue since 2011-Oct and S2 - support trend line in green since 2008-Oct) were both broken down in 2015 August. Until the end of the year the index still could not climb back above the two trend lines - it was a very bearish signal for the index.

By technical analysis, when a support trend line is broken below, we should then look at the next support trend line. In chart 1, it will be the S3 line in red, which is the support trend line since year 2003 (SARS). According to this trend line, HSI can drop to as low as 14000-14500 in year 2016. If the index were found broken down the 2015 low (@20368), there is a high chance that the bears and the failed bulls will push the index down to this target. Bullish fans should be very cautious this year.

Review from the Asset Management

Apart from using the support trend line analysis method, we further try to locate a more exact target based on harmonic trading pattern.

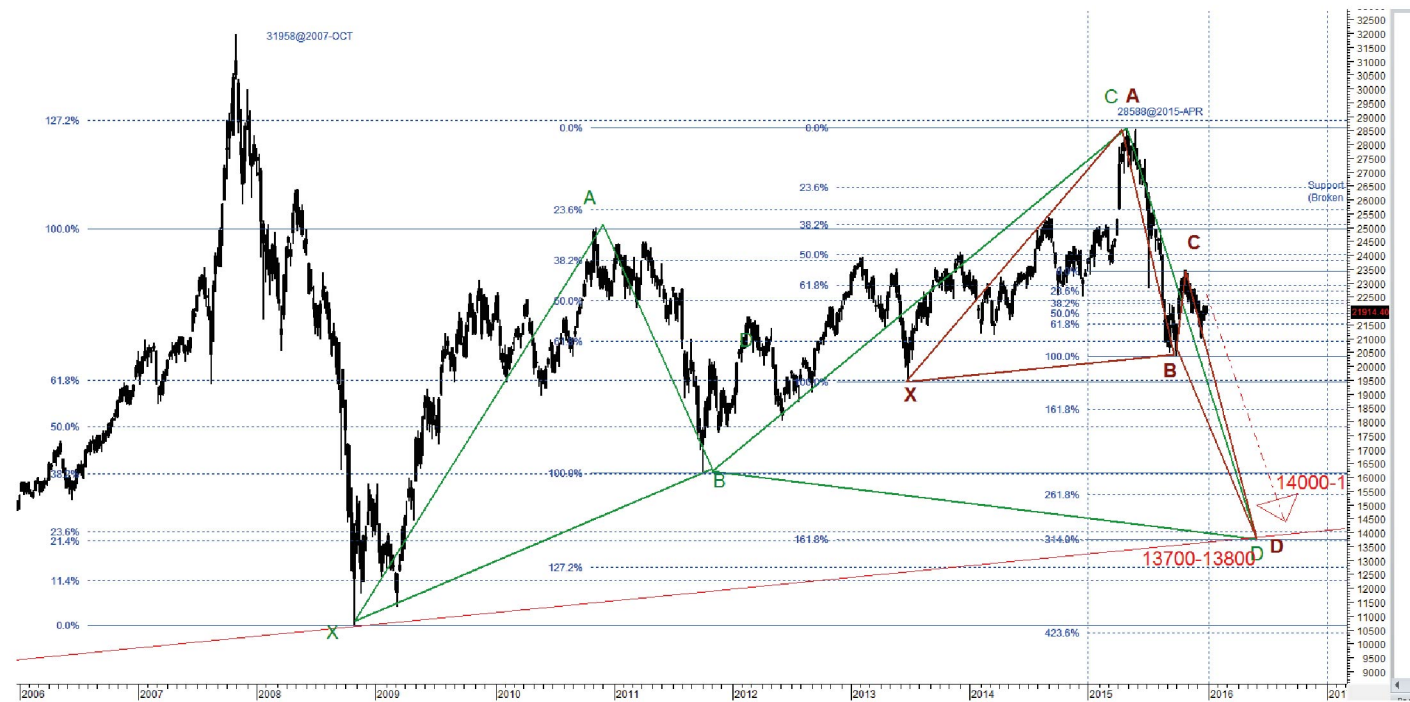
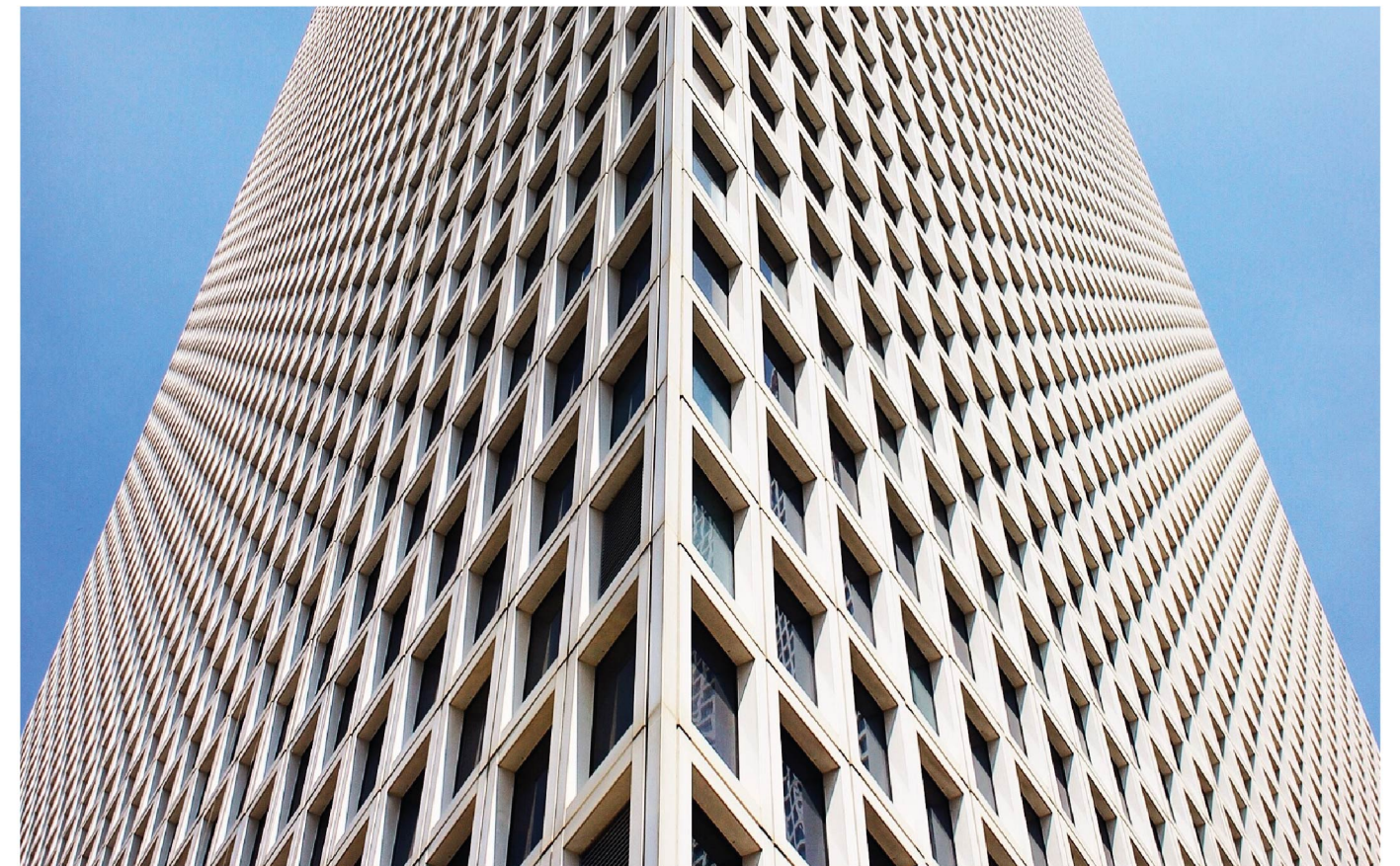


Chart 2 – Harmonic analysis with weekly chart.

Chart 2 is a HSI weekly chart since 2006. In the chart, we may project two different harmonic patterns (the green XABCD – a bullish cypher pattern and the brown XABCD – a bullish deep crab pattern). Both of the harmonic patterns point to a D around 13700-13800, which are very closed to the long term trend line projection (14000-14500).

As a conclusion, in year 2016, there would likely be another market collapse which resemblance the one in 2015. The magnitude of the downward force will have the index break below the low of 2011 (~16200) but hopefully not lower than that of 2008 (10676). The most probable low for HSI will be around 13700-13800. This forecast will be voided if the index can climb back above the brown C point (23500) in chart 2 – the high in 2015 Q4.

(by LW)



Market Update

As we are approaching to the year-end period, the HK market was very quiet in the month of November and continues to consolidate in a narrow range as expected.

However, after China reported the November's foreign reserve and trade figures, market sentiment in early of December suddenly turned very bearish. Both figures have triggered the selloff in most of the global equity markets. China's foreign exchange reserves posted their third-largest monthly decline on record, dropped US\$87bn in November. As a result, it renews the investors' concerns over a prolonged capital outflows from China and RMB depreciation after a mild rebound in October. However, we believe investors are overreacted on the November's foreign reserve data and we expect the reserve number will improve again in following months, why?

1. The huge drawdown in November could be one-off-Indeed, the increasing capital outflows pressure in the last month was well expected by us as the whole financial world (investment banks, analysts, media, and scholars) in November has kept on saying that RMB would experience a sharp depreciation after going into the IMF's SDR by the end of last month. Finally, capital outflows picked up sharply last month as investors would like to get out from holding RMB assets ahead of the judgement day of the IMF's decision. After the RMB has been included into the IMF's SDR, the yuan has weakened slightly and it has remained largely trading at a reasonable level since then. So, we don't expect we will see another month of huge drawdown of China's reserve in coming months.

市場回顧

2. US dollar weakness - The other factor that led to the increasing outflow is the strengthening of the US dollar on expectation that the Fed will raise rates and the ECB will boost its QE program in December. However, after the ECB president disappointing the market in early December with the modest scale of its additional stimulus, the Euro has rebounded and the US dollar also dropped sharply. We expect the US dollar will continue to fall further after the Fed kicks off the first rate hike in mid of this month and it would ease down part of the capital outflows pressure from China.
3. Currency effect - Part of the reasons for the reduction of the reserve in November was due to the currency effect. The sharp falling of Euro (4%) plus weakening Yen, franc, and sterling in November already accounted for about US\$40bn of that reduction. With the sharp rebound of Euro and weakening US dollar since early December, it should give certain support to the Chinese reserves in coming month.
4. Improving trend on export performance - Although China's November export growth continues to drop (because of high base effect in 2014), the rate of declining is actually showing more stable signals and we expect it will start to improve gradually in 1H16.
5. High level of trade surplus - Also, the current trade surplus remains staying at around the all-time high level, recorded US\$54bn in November, the seventh-largest surplus on record, and it is likely to stay at the high level in coming months, which can continue to provide a buffer for the capital outflows.

For the market outlook, there is not much change from previous month. We continue to stay bullish on HK/China equities in coming few months and the crucial factor will be the direction of the US dollar after the Fed meeting in December (especially the direction of the US dollar against Asian currencies), as it has direct impact on the global fund flows, China's capital flows, oil prices, commodity prices, etc.

Given to the fact that the policy surprise from the ECB decision in early of December has already triggered many traders to unwind their crowded trades of shorting Euro and long US dollar, we expect after the Fed decides to raise rate this month, we might see more downward pressure on the US dollar and a prolonged period of a weakening US dollar should be good to the whole Asia, including HK/China.

However, we would like to draw the attention of our clients to the fact that from now on until the end of December, some of our stock holdings might come under selling pressure as many funds would like to clear up some holdings in their portfolios at whatever prices before the year end so as to improve the appearance of the portfolio or before presenting it to clients. Nevertheless, this kind of selling activities usually has no direct relationship with the companies' fundamentals but it might create some negative impacts on our overall portfolios' performance in December. However, we expect prices will rebound to the normal levels after the year end period.

For the global systemic risk level, we believe a moderate weakening of the US dollar should give support to the global commodity prices and ease down some default pressure on those commodity trading platform companies. However, on concern over the Iran would start to add additional output to the global oil market after sanctions are withdrawn next year, the OPEC members recently made a decision that they will maintain the current production levels with no production limit has pushed down the oil prices sharply to US\$36 per barrel. If the uncontrolled output from those OPEC and non OPEC members continue to rise, we might see a sharper fall in global oil prices and that will create threats to many commodity-driven economies and the global high yield bond markets. As such, we would continue to hold a relatively higher cash level or around 30% in the portfolio.

(December 2015, Base Asset Management)

由於現在已經接近年終結算時期,香港市況在十一月份交股持續淡靜,恆生指數如預期一樣,繼續在一個狹窄的範圍內上落。

可是當中國在十二月初公佈了十一月份的外匯儲備和貿易數字後,市場情緒再突然轉至極度悲觀。這兩個數據甚至一度引發全球大部分股市出現下滑情況。中國的外匯儲備在十一月份下降了 870 億美元,創有紀錄以來第三大單月跌幅。當數據公佈後,投資者再次擔憂自上月出現回穩跡象後,中國可能出現持續性的大規模資本外流情況和人民幣將會急速貶值。但是,我們認為投資者對上月中國的外匯儲備數據作出過度反應,我們預計外匯儲備數字將會在隨後的幾個月裡慢慢地改善,為什麼呢?

1. 十一月份的外流量可能是一次性的
事實上,在上個月份出現的資本外流情況都是在我們預期之內。皆因整個金融世界 (包括投資銀行,分析師,媒體和學者)在十一月份裡都一致性地說當人民幣在十一月底進入國際貨幣基金會(IMF)的特別提款權(SDR)後將會出現大幅度的貶值。結果,很多投資者都趕著在十一月底IMF作出決定前減持手上的人民幣資產,以至上月份中國的資本外流情況出現大幅度的回升。然而,自人民幣被納入 IMF 的 SDR 後,人民幣只是出現了輕度的走軟,它基本上仍保持在一個合理的水平,沒有出現大幅度的貶值。所以,我們不預期中國的外匯儲備在未來幾個月內會再出現大規模的下降。
2. 美元回軟
導致外匯儲備流走的另一個因素是美元強勢。最近,在預期十二月美國聯儲將會加息和歐洲央行將擴大其量化寬鬆計劃下,美元持續攀升。上升的美元趨勢加速投資者把手上持有的人民幣資產轉換至美元。不過,當歐洲央行行長在十二月初宣佈一份比市場預期較溫和的量化寬鬆計劃後,令市場大失所望,歐元作出強勁的反彈,美元也出現了大幅的下跌。我們預期當美國聯儲局在十二月中作出第一次加息後,美元將進一步走弱,這將適度地舒緩中國的資本外流壓力。
3. 匯率影響
此外,在十一月份出現外匯儲備減少的部分原因是由於匯率影響。在上一個月裡,由於美元持續強勢,歐元兌美元大幅貶值了4%,再加上日元,瑞郎,和英鎊都相繼走弱,而中國公佈的外匯是以美元計算,以至在十一月出現的下跌總額中,約 400 億元是源於歐羅和其它貨幣在月內之貶值。隨著自十二月初美元疲軟和歐元的大幅反彈,這對中國的外匯儲備在未來的一個月應該得到一定的支撐。

4. 中國出口開始出現改善趨勢
儘管中國十一月份的出口持續出現負增長(因為2014年的高基數效應),但下降的速度實際上已呈現出一些回穩信號,我們預計中國的出口將會在2016年上半年開始逐步改善。
5. 強勁的貿易順差
此外,目前中國的貿易順差仍然保持在歷史最高水平。十一月份錄得 540 億美元的順差,為歷史上第七大順差額。我們預期在未來數月,中國的貿易順差仍會停留在較高水平,並可繼續為資本流出情況提供一些緩衝作用。

對於後市展望,我們基本上與上一個月的看法沒有太大的變化。我們繼續看好香港/中國股市在未來數個月的表現。然而,最關鍵的因素將是美元在美國聯儲局議息會議後的方向(尤其是美元對亞洲貨幣),因為它將會直接影響全球的資金流向,中國的資本流向,油價,和大宗商品價格等。

鑑於歐洲央行在十二月初的量寬政策已對市場造成一定的震盪,並引發許多外匯交易商和投機者要為他們大量的歐元空倉和美元好倉急於平倉,我們預計在美國聯儲局決定在本月加息後,我們可能會繼續看到更多的平倉盤,以至美元持續走弱,而一個較長期的美元弱勢浪將有利於整個亞洲,包括香港/中國市場。

不過,我們想我們的客戶可留意的是,從現在開始到十二月底,我們組合內的一些持股可能會受到一些短暫的拋售壓力,皆因一些大型基金須要在年結前做一些粉飾櫥窗動作,他們會把組合中的一些中小盤股票或一些他們賬面出現虧損的股票,在不問價的情況下希望在年底前清倉,以便他們可粉飾組合內持股表的外觀。然而,這種沽售活動通常與公司的基本面是沒有直接關係的,但它可能會對我們十二月份投資組合的表現產生一些負面影響。不過,我們預計過了本月底,這些股票的價格將回升到正常水平。

對於全球系統風險水平,我們認為如美元繼續走軟,無疑對全球大宗商品價格帶來支持,並緩和那些大宗商品交易平台商的違約風險壓力。然而,因擔心伊朗在明年撤出制裁後將開始對全球輸出更多的石油,油組國(OPEC)最近決定不減產和維持目前的生產水平,甚至宣布沒有產量上限的決定令油價大幅下滑至37美元一桶。如果這些油組和非油組成員國的產量繼續失控,我們可能會看到全球油價持續滑落,這將對許多商品國的經濟和全球高收益債券市場構成威脅。因此,我們的投資組合將會繼續持有相對較高的現金水平,大概持有 30%左右。

(2015年12月,基智資產管理)

Education & Seminars

JLA was honored being invited to give speech and seminar to some institutions, corporations and groups on different topics in 2015.

The most impressive one was the HSBC Guangzhou Headquarter training seminar on Macro Economics & Compliance. The middle management staffs very much enjoyed the discussion with us especially on the global financial market changes.

In Japan, the one we had last year in Tokyo was a seminar invited by the Shukan Jutakushinbun (translated as Residential Property Newspaper Weekly) giving lesson to their students for the International Real Estate Advisory Training. Japan is moving the same way as the mainland China's "Go Out Policy", tapping the overseas property markets especially those located in the Asian countries.

With your strong supports, JLA will continue to share with you our experiences and market views at schools, institutions and corporations going forward.



我們很榮幸於2015年繼續我們的講座和培訓工作。去年JLA應不同團體及公司的邀請，分享了我們的經驗和建議。

最感到高興的是匯豐銀行廣州總部的培訓，題目「宏觀經濟與有關法規」。中層管理人的同學們積極的討論世界金融市場最為印象深刻。

在日本，我們被日本週刊住宅新聞社邀請，擔當她們舉辦的國際房地產投資顧問課程的講師。國際化的日本，不斷地尋找新市場，配合近年的海外房產投資熱潮，有如中國的「走出去」政策，越來越多房地產顧問參與海外房地產投資推介，特別是亞洲地區的項目。

JLA感謝各界的鼎力支持和鼓勵，會繼續努力與各位公司、機構和學校，分享我們的經驗和市場展望。



Disclaimer

The information or market comments contained are for information purposes only. Neither the information nor any opinion expressed constitutes an offer to buy or sell any securities or other investment products. JL Advisers Limited accepts no liability for any damages or losses arising from the use of the home page or its contents. If you are not an intended reader of this content(s), you must not copy, distribute or take any further action in reliance upon it. We cannot accept responsibility for the accuracy or completeness of this content(s). This content(s) could contain viruses, be corrupted, destroyed, incomplete, intercepted, lost or arrive late. Any views or opinions presented are solely those of the author and do not represent those of our company. The content(s) is intended for information purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related.